

サイエンスアゴラ2017

科学と暮らし
ともに語り 紡ぐ未来

キーノートセッション

“ゲノム編集時代の生殖医療と私たち”

<企画趣旨>

市民レベルでゲノム編集技術についての理解を広げ、問題の共有を図り、制度のあり方や個々人の心持ちも含めて議論することにより、ゲノム編集技術の生殖医療応用のあり方について議論をします。

11月26日(日)

13時30分～15時

テレコムセンタービル
西棟8階 会議室B

プログラム

13:30 開会のあいさつ

石川冬木（日本学術会議会員、京都大学大学院生命科学研究科教授）

13:30-14:15 話題提供

「ヒト配偶子や受精卵のゲノム編集 論点」

石井哲也（日本学術会議連携会員、北海道大学安全衛生本部教授）

「生殖医療の現場から」

苛原 稔（徳島大学大学院医歯薬学研究部産科婦人科学分野教授）

「こども病院・遺伝診療の現場から」

村山 圭（千葉県こども病院代謝科部長）

「生殖医療とゲノム編集・メディアの報道現場から」

宮野きぬ（NHK国際放送局ワールド・ニュース部チーフ・プロデューサー）

14:15-15:00 討論会（司会：石川冬木）

ご質問、ご意見、ご感想など、自由にお話しましょう。

15:00 閉会のあいさつ

渡辺美代子（日本学術会議副会長、国立研究開発法人科学技術振興機構副理事）